

公益社団法人日本新体操連盟

平成 26 年度第 1 回総会議事録

1. 会議名： 平成 26 年度第 1 回総会
2. 日時： 平成 26 年 6 月 22 日（日）14 時 30 分～15 時 00 分
3. 場所： 東京都千代田区丸の内 1-7-12
「東京ステーションコンファレンス 503A」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席会員数： 11 名
以下出席社員
秋山 久世(A S K A ・ R G)
飯田 まぶき(インタークオレス)
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)
村上 佳子(R i b b o n 新体操クラブ)
橋爪 みすず(ポーラ☆スター R G)
加藤 弘美(S T E L L A)
寺田 江身子(R . G . C . 富士 スターリス ジュニア)
梅田 雅代(明石 R G)
松島 博子(広島オーキス新体操クラブ)
吉田 佳代(三木 R G)
土屋 瑞恵(土屋 R G クラブ)
6. 欠席会員数： 9 名
7. 出席役員： 二木 英徳(会 長) 朝倉 正昭(副 会 長) 石崎 朔子(副 会 長)
福本 隆(副 会 長) 関田史保子(常務理事) 渡辺 守成(常務理事)
秋山エリカ(理 事) 池田真喜子(理 事) 岡 久留実(理 事)
谷口 裕代(理 事) 橋本 千波(理 事) 山崎 浩子(理 事)
以上 12 名
8. 欠席役員： 上村 郁代(理 事) 崇島 慎一(理 事) 谷原 誠(理 事)
田中 元(監 事)
以上 5 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 25 年度事業報告承認について(定款第 4, 12 条関連事項)
第 2 号議案 平成 25 年度収支決算報告承認について(定款第 4, 12 条関連事項)
第 3 号議案 代議員候補者推薦委員会について(定款第 5 条関連事項)
第 4 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
 - (1) 議長による開会宣言
 (公社)日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
 - (2) 議事録署名人の選出
 定款第 18 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と関田史保子常務理事にする事を議場に諮り承認された。
 - (3) 定足数の確認
 定款第 17 条により総会出席者数 11 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) 議決事項

第1号議案 平成25年度・事業報告承認について(定款第4,12条関連事項)

議長は説明者として石崎朔子副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成25年度登録状況報告について

平成25年度は

加盟団体数	564 団体
登録選手数	8,426 名
愛好者数	31,235 名
審判員数	1,230 名
指導者数	1,467 名

であった。子どもの人口減少などにより登録クラブ数が減っているものと思われる。

2. 「第22回全日本新体操クラブ選手権」について

8月20日から22日に「東京体育館」にて開催した。

参加者数は 200 クラブ
クラブ対抗はイオンが4大会連続20回目の優勝
シニアは山口留奈選手
ジュニアは古井里奈選手
が優勝した。

3. 「第13回全日本新体操クラブ団体選手権」について

9月7、8日「東京体育館」にて開催した。

参加者は133クラブチーム832名が参加した。

競技では、「シニアの部」「ジュニアの部」とともに「すみれR G」が優勝を飾った。

4. 「イオンカップ2013世界新体操クラブ選手権」について

大会は10月25日から27日にかけて「東京体育館」にて開催した。

大会には世界選手権優勝のロシアのヤナ選手ら世界トップ選手が集まった。

競技では、ヤナ選手擁するロシア「ガスピロム」が14回連続16回目の優勝を飾った。
シニアではヤナ選手が初優勝、ジュニアでもロシアのブラービコワ選手が初優勝を飾った。

日本選手団では、「イオン」が昨年に続き4位入賞を果たし、ジュニアではイオンの柴山瑠莉子選手が5位に入賞するなど活躍を見せた。

5. 「第14回日本新体操祭」

「イオンカップ」2日目の10月26日「東京体育館」で開催した。

参加者数は46クラブ1533名であった。

大変多くの参加者とそれをご覧になるお客様で、大変盛況であった。

6. 「第16回全日本新体操チャイルド選手権」

「第13回全日本新体操キッズコンテスト」について

今回は355クラブ784名の参加者を集め、2月21日から23日にかけて「東京体育館」にて開催した。

5・6年生の部で「アンジュ」の海野晴子選手が、

3・4年生の部は「Wing まつもと R G」の得能滯選手が初優勝を飾った。

7. 「平成 25 年度セミナー」について

セミナーを初級集中講義、上級セミナー、海外セミナー、審判セミナーと開催した。しかし、上級セミナーと海外セミナーでは、申込者が最低参加人数に達しなかったため中止となった。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 25 年度・事業報告承認」について全会一致可決された。

第 2 号議案「平成 25 年度・収支決算報告」について（定款第 4, 12 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 収支決算

資料には平成 25 年度の予算と実績を記載し、差異の大きいところを説明する。

「登録費」について

子ども人口の減少と思われる影響で登録数が減少し、予算より 16 万 8430 円少ない会費収入 1203 万 1570 円となった。

「世界新体操クラブ選手権」について

予算については昨今の景気高揚感により、スポンサー収入が予算を上回り、約 3000 万円多い 2 億 3434 万 573 円の収入があった。支出については、景気上昇による物価上昇、円安などにより、渡航費、宿泊費などが上がり、2 億 3345 万 487 円の支出となった。

「国内大会」について

クラブ選手権は参加者が減少したため、収入が 200 万円ほど少ない、1312 万 7800 円となったが、その他大会収入、クラブ選手権を含めた各大会の支出はほぼ予算通りとなった。

「選手強化合宿」「指導者海外研修会」について

開催募集したが、応募人数が最低開催人数に満たなかったため、中止とした。そのため収入は 0 円計上。支出の 10 万 1000 円は中止に伴うキャンセルチャージとなる。

以上により、平成 25 年度事業活動収入合計は 2 億 9305 万 7594 円。事業費支出計が 2 億 8063 万 8015 円。管理費がほぼ予算計上通りで 1219 万 6710 円。事業費支出と管理費を合わせ、2 億 9283 万 4725 円が 25 年度の支出合計となった。25 年度収入から、支出を差し引き 22 万 2869 円が当期収支差額となった。

前期繰越金 1350 万 7395 円に当期収支差額 22 万 2869 円を 1373 万 264 円が次期繰越となった。

2. 貸借対照表、財産目録

25 年度は流動資産が 22 万 2869 円の増加、負債はなかったので 0 円。

よって、平成 26 年 3 月 31 日時点の正味財産は昨年度より、22 万 2869 円増加し、基本財産、資産等含め 3535 万 4320 円となった。

3. 監事承認

この決算内容は本連盟監事より、承認いただいていることを合わせて報告した。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成25年度・収支決算報告承認」について全会一致可決された。

第3号議案「代議員候補者推薦委員会」について（定款第5条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 代議員候補者推薦委員会について

現第1期代議員の任期は平成27年3月31日までとなっている。その前までに選挙で第2期代議員を選ぶが、その代議員候補者を推薦する委員会を設ける事が代議員選挙規則に決まっている。その委員は選挙規則第4条で、会長、事務総長と総会で委嘱された3名となっている。

よって、委員5名のうち2名は二木英徳会長、池田真喜子事務総長、残り3名に福本隆副会長、石崎朔子副会長、渡辺守成常務理事の3名を推薦したく、審議いただきたい。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「代議員候補者推薦委員会」について全会一致可決された。

第4号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが、提案、報告はなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成26年6月22日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成26年度第1回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 関 田 史保子